

がんばってます！消防団

編集 ● 第7分団

地震火災対策できていますか？

～ 地震火災は大規模火災につながる可能性があります ～

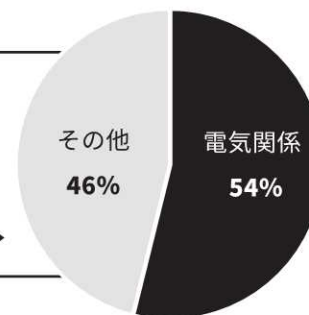
大規模地震発生時には、火災が同時に多くの場所で発生するおそれがあるため、消防力が不足することで消火活動が困難な状態となり、住宅密集地などでは大規模な火災につながる危険性が高くなります。

なぜ対策が必要？

近年の大規模地震発生時には、電気に起因する火災が多く発生しています。平成23年3月11日に発生した東日本大震災における本震による火災では、原因の特定されたもののうち過半数が「電気」に起因したものでした。

(出典 令和2年版消防白書)

東日本大震災における火災の発生原因 ▶



事前の対策

- ☐ 住まいの耐震性を確保する
- ☐ 家具などの転倒防止対策（固定）を行う
- ☐ 感震ブレーカーを設置する
- ☐ ストープなどの暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かない
- ☐ 住宅用消火器などを設置し、使用方法について確認する
- ☐ 住宅用火災警報器を設置する

※ 連動型住宅用火災警報器などの付加的な機能を併せ持つ機器を推奨



感震ブレーカーを設置

地震直後の行動

- ☐ 停電中は電化製品のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く
- ☐ 石油ストーブやファンヒーターからの油漏れの有無を確認する
- ☐ 避難するときはブレーカーを落とす



油漏れの有無を確認

地震からしばらくして（電気やガスの復旧、避難から戻ったら）

- ☐ ガス機器、電化製品および石油器具の使用を再開するときは、機器に破損がないこと、近くに燃えやすいものがないことを確認する
- ☐ 再通電後は、しばらく電化製品に煙やにおいなどの異常がないか注意を払う

日ごろからの対策

- ☐ 自分の居住地での地震火災による影響を把握する
- ☐ 消防団や自主防災組織などに参加する
- ☐ 地域の防災訓練に参加するなど、発生時の対応要領の習熟を図る



防災訓練に参加

● ハローベビープロジェクト

赤ちゃんを迎えるご家庭を祝福し、 これからの生活を応援します

与謝野町では、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を展開しています。その支援の一つとして「ハローベビープロジェクト（以下、プロジェクト）」があります。

図 子育て応援課 ☎ 43-9024

ハローベビープロジェクトってなに？

このプロジェクトでは、妊娠中期から後期までの妊婦とその配偶者などを対象に、保健師が面談を行ないます。

- 「妊娠中の過ごし方」
- 「お産の準備はいつする？」
- 「いざ陣痛がきたらどうする？」
- 「どんなふうに育児をしていく？」
- 「なんとなく実感がわかないけど・・・」

赤ちゃんを迎える心身の状況、これからの生活の変化やその対応方法、これから必要な物など、ご家庭にあった赤ちゃんを迎える「ハローベビー計画書」を作成します。



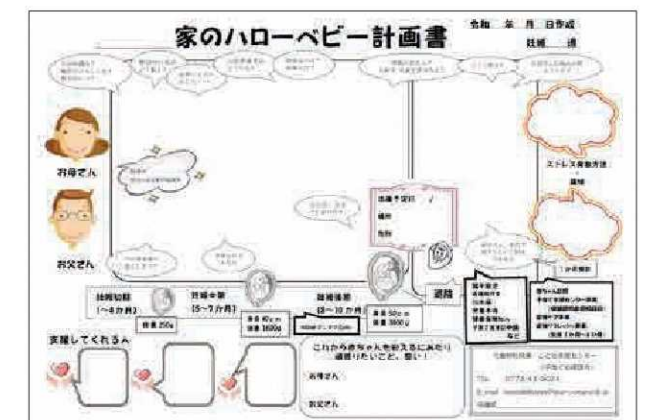
お話をしながらハローベビー計画書を作成します

さまざまな手続きをお知らせします

よさの子育てガイドをもとに産後リフレッシュ事業や離乳食教室など、今後利用できる事業や産後に必要な主な給付金申請・届出などの手続きをお知らせしています。また、お子様の誕生後には、記念品として名前入りの器をプレゼントしています。



よさの子育てガイド（妊娠～出産）



ハローベビー計画書

保健師と楽しく話をしながら一緒に計画を立てていくことで、今後の生活についてのイメージを持ち、先の見通しを立てることができます。また、赤ちゃんを健やかに育てる環境を整えることができるのではないか、喜びや楽しみを分かち合いながら保健師が不安を支えていくことができるのではないかと考え、このプロジェクトを実施しています。



両親面談の様子

どうやって参加するの？

親子（母子）手帳の交付時にプロジェクトの紹介をさせていただきます。後日、保健師から面談の日程調整の連絡をしますので、対象の方が一緒に参加できるように、都合の良い日を話し合っておいていただきますようお願いします。